



おおし

第2号

《 大芦小HP <https://oashi-e-konosu.edumap.jp/> 検索 》

天然資源はないが人的資源のある国 日本

原油高によるエネルギー（電気・ガス・ガソリン・灯油等）料金の高騰・高止まりや食料品の相次ぐ値上げの一方で、賃金は上がりず家計が圧迫される中、天然資源や食品原料のほとんどを外国からの輸入に頼っている日本の弱みを露呈された形になっています。毎朝、通勤の車の中でラジオの情報番組を聞いているのですが、経済評論家、経済学者、大学教授がしきりに、予備費の所得制限のない分配支給や消費税の一時的でも減税・廃止、ガソリン税にかかる消費税のいわゆる二重課税の撤廃等を訴えているものの、実現は難しそうです。

冒頭から暗い話になりましたが、表題は北野武氏（ビートたけし）の兄、北野大（きたの まさる）氏の講演から引用しました。平成26年に、関東甲信越地区公立学校教頭研究大会で、当時、淑徳大学人文学部表現学科教授であった北野氏の記念講演がありました。内容をいくつか紹介いたします。

日本の資源は「人的資源」 人間×教育＝人的資源 「人間」が資源

原油国の方との対話の中で 「石油は使えば無くなるが、日本は人的資源がある」

日清・日露戦争で日本が勝ったのは、江戸時代の教育があったから

東南アジアが発展途上国の理由…気候が温暖 安定 衣食住が足りている 満足・快適→来世に関心
それに比べて日本は…気候・環境・大自然の災害 適度な厳しさが勤勉な日本人をつくった

「貧乏」について 貧乏を断ち切るのは「教育」 腕に職をつける「技術」

実家は塗装業 雨が降ると仕事ができない けがをしたら仕事ができない 有給休暇もない

「弟 たけし」について なぜたけし軍団（弟子）がついてくるのか たけしの人間性による

教科の好き嫌いは先生との相性 先生の責任 子どもの将来を見据えた進路選択を

大学は一部、税金でまかなわれている 卒業後はその恩返しのために働く

学生には「大学生としての誇りを持って」と厳しく言っている あいさつ・礼儀には厳しい

良い文章を書くためには良い文章を丸暗記すること

早寝 早起き 朝ご飯 昔子どもは母親の朝食を作る「音」で起きた 今はお袋ではなく「袋」の味
謙虚な人間になれ 「実るほど頭を垂れる稲穂かな」 自慢 高慢はダメ

講演を聞きながら、改めて「教育」の大切さと同時に学校教育に携わる私たちに課せられた責任の重さを感じました。第二次世界大戦後の焼け野原からの復興、高度経済成長を遂げ先進国となった日本を支えてきた一つに「義務教育」があると思います。日本国憲法第26条の②に「すべての国民は、この法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育はこれが無償とする。」とあります。日本は、天然資源の恩恵を受けられない代わりに、無償での学びが国から保証されています。昭和22年に制定された「学校教育法」は当時の戦後の復興ままたない社会状況を鑑みてか、「義務」に違反した場合は「罰金に処する」としています。列強に追いつくために「教育」の力で日本を発展させていこうということだったのでしょうか。もともと勤勉な素質をもつ日本人に「教育」の力をかけた（北野氏の言う ×「かける」）結果、戦後20年も経たないうちに、東海道新幹線の開通そして、東京でオリンピックが開催されるまでになりました。

子どもたちの可能性を見つけ伸ばすのも、まずは基礎学力の定着から始まります。将来の日本、世界を担っていく目の前の子どもたちに学ぶ喜びを感じられるように日々、着実に教育活動を進めてまいります。

結びに、「教育の力」が戦争のない平和な明るい未来に結びつくことを願っています。

『ペンが剣よりも強し』

（校長 橋本 浩）

